

2010年度中間決算説明会



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

2010年11月

2010年度中間決算概要

・決算概要Ⅰ－①<P/L:連結・2行合算>	2
・決算概要Ⅰ－②<P/L:各行>	3
・決算概要Ⅱ－①<B/S:連結・2行合算>	4
・決算概要Ⅱ－②<B/S:各行>	5
・トップラインの増減要因①～資金利益	6
・トップラインの増減要因②～非金利収入	7
・トップラインの増減要因③～経費	8
・有価証券関係損益	9
・与信費用・不良債権	10
・自己資本の状況	11
・繰延税金資産	12
・業績予想	13
・預金	14
・貸出金	15
・信用保証協会保証付貸出	16
・住宅ローン	17
・取引先支援・金融円滑化への対応	18

・預貸金利ざや①	19
・預貸金利ざや②	20
・投資型金融商品	21
・有価証券残高・評価損益	22
・ポートフォリオ(円貨債券)	23

地域社会とともに

・地域密着	25
・金融教育・産学連携	26
・環境	27

経営戦略

・営業力の強化～取引基盤の強化	29
・営業力の強化～海外ビジネス支援	30
・営業力の強化～成長分野への取り組み	31
・営業力の強化～店舗・人財	32
・経営の効率化	33
・株主への還元	34

2010年度中間決算概要

決算概要 I ー①<P/L:連結・2行合算>

2010年5月14日公表

<ほくほくFG連結> (億円)	[10/9期業績予想]	10/9期	増減	09/9期
経常収益	[1,050]	1,092	▲50	1,143
経常利益	[140]	180	+47	133
中間純利益	[80]	100	+43	57
A				
<2行合算> (億円)				
コア業務粗利益	[785]	760	▲35	796
資金利益		649	▲4	653
うち国内部門		648	▲0	649
役務取引等利益		108	▲5	113
特定取引利益		5	▲2	8
その他業務利益(国債等債券損益を除く)		▲21 ▲3	▲24	▲8 20
経費(臨時処理分を除く)(▲)	[480]	484	+12	471
コア業務純益	[305]	276	▲48	324
国債等債券損益		+21 30	+12	+8 18
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)		306	▲36	343
臨時損益		▲107	+54	▲162
与信費用(▲)	[130]	83	▲84	168
株式等損益		▲21	▲12	▲9
経常利益	[150]	188	+46	142
特別損益		▲5	▲43	37
法人税等(▲)		70	+5	65
中間純利益	[90]	111	▲2	114
B				

下線付数字:それぞれに含まれる債券のオプション取引損益

<ほくほくFG連結>

中間純利益 100億円 (09/9比+43億円)

<2行合算>

コア業務純益 276億円 (09/9比▲48億円)

…粗利益減少、経費増加

経常利益 188億円 (09/9比+46億円)

…国債等債券損益は改善、
与信費用は大幅に減少

中間純利益 111億円 (09/9比▲2億円)

…前年は特別利益として子会社清算益
30億円を含む

連単差の内訳

(億円)	10/9期	増減	09/9期
差額 A-B	▲11	+45	▲56
その他子会社	5	+7	▲1
のれん償却	▲12	0	▲12
連結調整	▲4	+6	▲11
子会社清算配当	-	+30	▲30

決算概要 I ー②<P/L:各行>

(億円)	<北陸銀行>			<北海道銀行>		
	10/9期	増減	09/9期	10/9期	増減	09/9期
コア業務粗利益	441	▲12	453	319	▲23	342
資金利益	361	▲3	365	287	▲0	287
うち国内部門	363	▲0	363	285	+0	285
役務取引等利益	66	▲2	69	41	▲2	44
特定取引利益	5	▲2	8	-	-	-
その他業務利益(国債等債券損益を除く)	6	▲3	9	→▲21 ▲9	▲21	→▲8 11
経費(臨時処理分を除く)(▲)	265	+7	258	218	+5	213
コア業務純益	175	▲19	195	100	▲29	129
国債等債券損益	▲6	▲1	▲4	→+21 37	+13	→+8 23
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	168	▲21	190	137	▲15	152
臨時損益	▲55	+23	▲78	▲52	+31	▲83
与信費用(▲)	29	▲40	70	53	▲44	97
株式等損益	▲13	▲6	▲7	▲8	▲6	▲2
経常利益	121	+23	98	66	+23	43
特別損益	▲4	▲28	24	▲1	▲14	13
法人税等(▲)	44	▲2	47	26	+7	18
中間純利益	72	▲3	75	39	+1	38

下線付数字:それぞれに含まれる債券のオプション取引損益

決算概要Ⅱ ①<B/S:連結・2行合算>

<2行合算> (億円)	10/9末	増減	09/9末
貸出金	69,667	▲348	70,015
うち中小企業等	47,142	▲2,298	49,440
うち個人ローン	19,743	+409	19,333
有価証券	22,041	+4,165	17,876
預金(含む譲渡性預金)	92,239	+2,936	89,302
うち個人預金(含む譲渡性預金)	64,709	+1,856	62,853
個人預かり資産	71,862	+1,545	70,316
預金(円貨、含む譲渡性預金)	64,431	+1,831	62,600
投資型金融商品	7,431	▲285	7,716
外貨預金	278	+25	252
公共債	2,920	▲200	3,121
投資信託	4,232	▲110	4,342

<2行合算> (億円)	10/9末	増減	09/9末
金融再生法開示債権	2,144	▲2	2,146
金融再生法開示債権比率	2.98%	+0.02%	2.96%

<ほくほくFG連結> (億円)	10/9末	増減	09/9末
自己資本比率	11.39%	+0.48%	10.91%
Tier1比率	7.49%	+0.79%	6.70%
繰延税金資産(ネット)対Tier1比率	16.94%	▲5.22%	22.16%

その他有価証券の評価差額	321	+190	130
--------------	-----	------	-----

<2行合算>

貸出金 09/9比▲348億円
 ……事業性貸出が減少、個人ローン・公金は増加

有価証券 09/9比+4,165億円
 ……国債を中心に積み増し

預金 09/9比+2,936億円
 ……個人預金の増加

個人預かり資産 09/9比+1,545億円
 ……個人預金は順調に増加

開示債権 09/9比▲2億円
開示債権比率 2.98%

<ほくほくFG連結>

自己資本比率 11.39%

有価証券の評価差額 321億円

決算概要Ⅱ－②<B/S:各行>

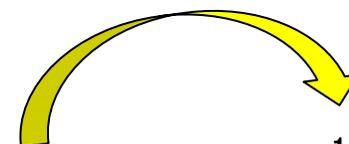
(億円)	<北陸銀行>			<北海道銀行>		
	10/9末	増減	09/9末	10/9末	増減	09/9末
貸出金	41,092	▲634	41,726	28,574	+285	28,289
うち中小企業等	28,018	▲1,188	29,206	19,124	▲1,110	20,234
うち個人ローン	10,335	+350	9,985	9,407	+58	9,348
有価証券	10,884	+2,299	8,584	11,157	+1,865	9,291
預金(含む譲渡性預金)	52,926	+1,367	51,558	39,313	+1,568	37,744
うち個人預金(含む譲渡性預金)	35,617	+720	34,897	29,091	+1,136	27,955
個人預かり資産	40,207	+553	39,654	31,654	+992	30,662
預金(円貨、含む譲渡性預金)	35,418	+705	34,713	29,012	+1,125	27,886
投資型金融商品	4,788	▲151	4,940	2,642	▲133	2,775
外貨預金	199	+14	184	79	+10	68
公共債	1,934	▲81	2,015	986	▲119	1,105
投資信託	2,655	▲85	2,741	1,576	▲24	1,601
	10/9末	増減	09/9末	10/9末	増減	09/9末
金融再生法開示債権	1,461	+60	1,401	683	▲62	745
金融再生法開示債権比率	3.43%	+0.20%	3.23%	2.33%	▲0.24%	2.57%
自己資本比率	11.27%	+0.71%	10.56%	10.68%	+0.38%	10.30%
Tier1比率	7.11%	+0.87%	6.24%	7.07%	+0.62%	6.45%
繰延税金資産(ネット)対Tier1比率	21.54%	▲7.31%	28.85%	13.31%	▲3.22%	16.53%
その他有価証券の評価差額	224	+112	111	168	+69	98

トップラインの増減要因① ~ 資金利益

- 資金需要の低迷と、競争激化の進行
⇒ 貸出金利回りの低下による利鞘縮小

【資金利益(国内部門)の増減要因】

(億円、%)	09/9期			10/9期			増減			要因分析		10/3期		
	平残	利回	利息	平残	利回	利息	平残	利回	利息	平残	レト	平残	利回	利息
〈2行合算〉														
資金利益			649			648			▲0					1,298
貸出金	69,524	1.89%	662	68,908	1.78%	616	▲616	▲0.11%	▲45	▲5	▲39	69,649	1.87%	1,306
有価証券	17,952	0.98%	88	20,592	1.03%	107	2,640	0.05%	18	13	5	18,303	1.00%	183
預金・NCD	88,422	0.22%	101	91,905	0.15%	72	3,482	▲0.07%	▲28	3	▲31	88,812	0.21%	186
〈北陸銀行〉														
資金利益			363			363			▲0					723
貸出金	41,182	1.82%	376	40,458	1.71%	347	▲723	▲0.11%	▲28	▲6	▲22	41,081	1.80%	739
有価証券	8,515	1.03%	44	10,102	1.15%	58	1,587	0.12%	14	8	5	8,732	1.05%	92
預金・NCD	51,055	0.24%	62	52,838	0.17%	45	1,782	▲0.07%	▲16	1	▲18	51,172	0.22%	115
〈北海道銀行〉														
資金利益			285			285			0					574
貸出金	28,342	2.00%	285	28,449	1.88%	269	107	▲0.12%	▲16	1	▲17	28,568	1.98%	566
有価証券	9,437	0.94%	44	10,489	0.92%	48	1,857	▲0.02%	4	4	▲0	9,570	0.95%	91
預金・NCD	37,367	0.20%	38	39,067	0.14%	27	1,531	▲0.06%	▲11	1	▲12	37,640	0.19%	71



11/3期計画 (国内部門)

2行合算		
	平残	利回り
貸出金	+200	▲0.10%
有価証券	+3,100	+0.01%
預金・NCD	+3,000	▲0.06%
北陸銀行		
	平残	利回り
貸出金	+80	▲0.11%
有価証券	+1,700	+0.07%
預金・NCD	+1,500	▲0.06%
北海道銀行		
	平残	利回り
貸出金	+120	▲0.09%
有価証券	+1,400	▲0.04%
預金・NCD	+1,500	▲0.05%

トップラインの増減要因② ～非金利収入

- 受入為替手数料が減少
- 外為売買益、金融派生商品収益が減少

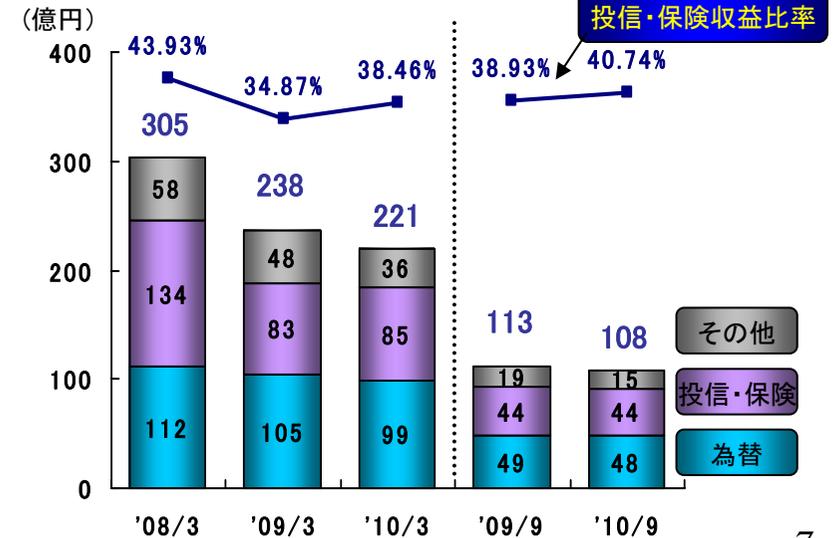
【非金利収入の増減要因】

〈2行合算〉(億円)	10/9期	増減	09/9期
(1) 役務取引等利益	108	▲5	113
役務取引等収益	178	▲2	181
うち受入為替手数料	58	▲1	59
うち投資信託手数料	24	▲0	24
うち保険手数料	19	▲0	20
役務取引等費用	70	+2	67
うち支払為替手数料	9	▲0	9
うちコンビニATM手数料	11	+1	10
うちローン保険料・保証料	45	+1	43
(2) 特定取引利益	5	▲2	8
(3) その他業務利益(国債等債券損益を除く)	▲3	▲24	20
うち外為売買損益(ネット)	8	▲14	22
うち金融派生商品収益	▲11	▲9	▲1
(4) 非金利収入計 (1)+(2)+(3)	111	▲31	142
(5) コア業務粗利益	760	▲35	796
(6) 非金利収入比率 (4)/(5)	14.60%	▲3.33%	17.93%

【コア業務粗利益】〈2行合算〉



【役務取引等利益】〈2行合算〉



トップラインの増減要因③ ～経費

➤ 人員増強、システム投資等により経費は増加

【経費の増減要因】

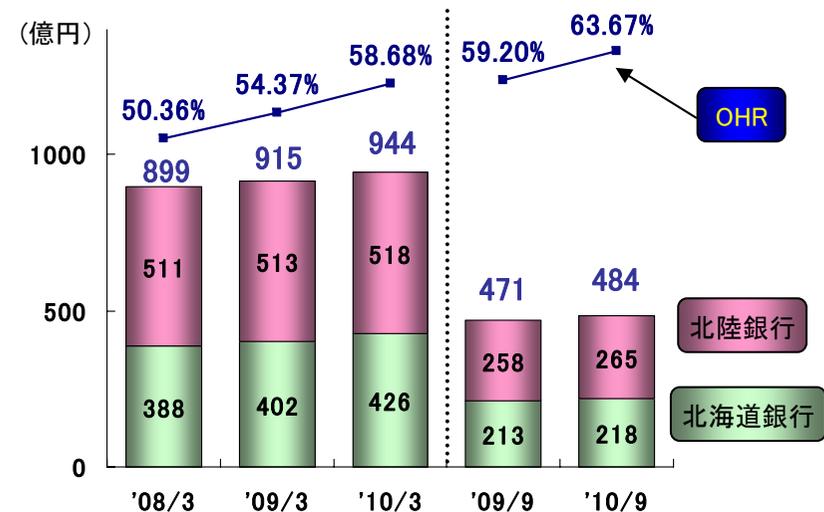
〈2行合算〉(億円)	10/9期	増減	09/9期
経費	484	+12	471
人件費	220	+4	215
物件費	236	+6	229
税金	27	+1	25
OHR	63.67%	+4.47%	59.20%
従業員数(嘱託、パート、派遣社員を除く正行員)(A)	5,057	+532	4,525
スタッフ数(B)	3,584	▲648	4,232
スタッフ比率(B)/{(A)+(B)}	41.47%	▲6.85%	48.32%

※OHR=(経費/コア業務粗利益)

※スタッフ数(B)=嘱託行員+契約社員+臨時雇+派遣・直接雇用パート

OHR地銀平均63.96%('10/3期)

【経費・OHRの推移】〈2行合算〉



人件費 09/9比+4億円
 ……営業力強化のための人員増加
 契約社員を正行員へ登用

物件費 09/9比+6億円
 ……新システム移行に向けた償却費増加

有価証券関係損益

- 国債等関係損益 30億円 (09/9期比 +12億円)
- 株式等損益 ▲21億円 (09/9期比 ▲12億円)

【有価証券関係損益】

(億円)	〈2行合算〉			〈北陸銀行〉			〈北海道銀行〉		
	10/9期	増減	09/9期	10/9期	増減	09/9期	10/9期	増減	09/9期
国債等債券損益	30	+12	18	▲6	▲1	▲4	37	+13	23
売却益	38	+3	34	0	▲0	0	38	+4	33
売却損	6	▲1	8	6	+4	2	0	▲6	6
償還損	0	▲2	2	—	—	—	0	▲2	2
償却	0	▲4	5	0	▲3	3	—	▲1	1
株式等損益	▲21	▲12	▲9	▲13	▲6	▲7	▲8	▲6	▲2
売却益	4	▲0	5	4	+1	3	0	▲1	1
売却損	4	+4	0	3	+3	0	0	+0	0
償却	22	+8	14	14	+4	10	7	+4	3

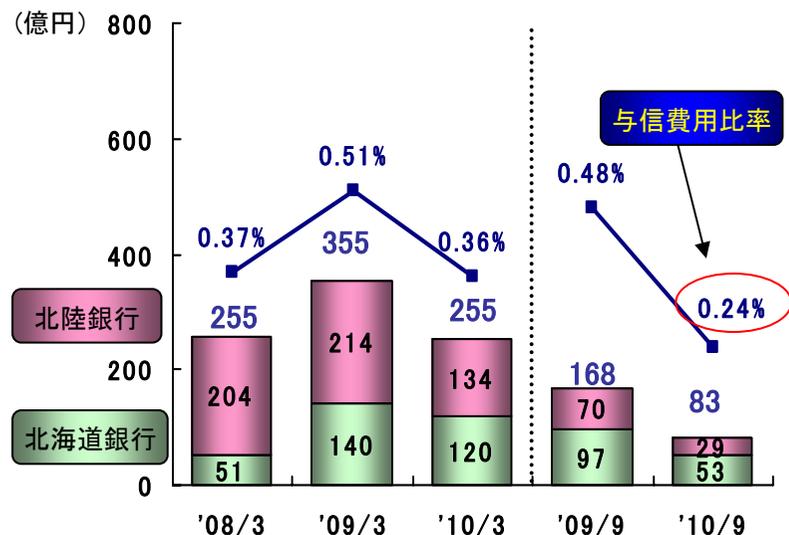
※「減損処理」は自己査定の区分ごとに次のとおり実施

要注意先以下	時価が取得原価に比べ下落
正常先	時価が取得原価の50%以上下落、又は、時価が取得原価の30%超50%未満下落かつ市場価格が一定水準以下で推移等

与信費用・不良債権

- 与信費用 83億円(09/9比▲84億円)、与信費用比率 0.24% (09/9比▲0.24%)
- 開示債権比率 2.98%(10/3比+0.00%)

【与信費用】〈2行合算〉



【金融再生法開示債権】〈2行合算+分割子会社〉

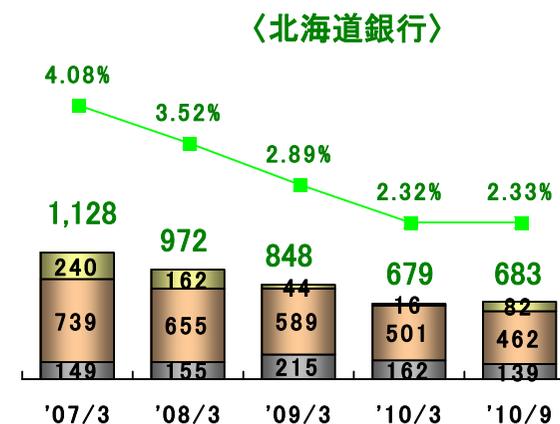
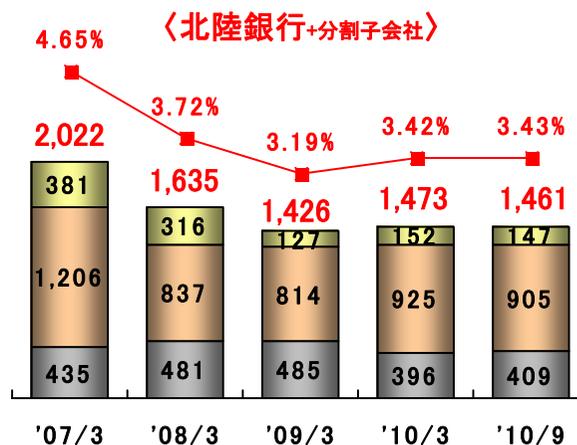


※与信費用

= 不良債権処理額 + 一般貸倒引当金繰入

※与信費用比率

= 与信費用 ÷ 貸出金平均残高



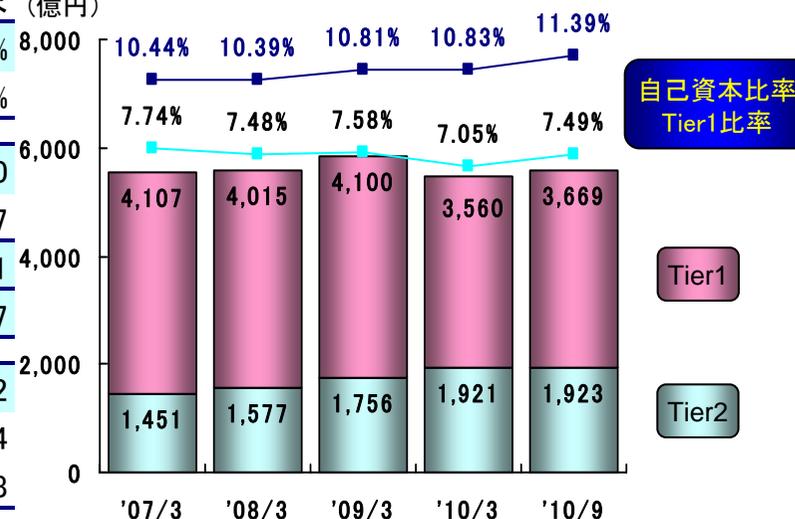
自己資本の状況

- 自己資本比率は11.39% (10/3比+0.56%)
- Tier1比率は7.49% (10/3比+0.44%)

【自己資本比率】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	10/9末	増減	10/3末	(億円)
自己資本比率	11.39%	+0.56%	10.83%	8,000
Tier1比率	7.49%	+0.44%	7.05%	6,000
Tier1	3,669	+109	3,560	4,000
うち優先株式(民間)	537	—	537	2,000
Tier2	1,923	+1	1,921	0
自己資本合計	5,579	+111	5,467	
リスクアセット	48,973	▲1,489	50,462	
信用リスク	45,813	▲1,391	47,204	
オペレーショナルリスク	3,159	▲98	3,258	

【自己資本比率・Tier1比率の推移】



〈北陸銀行(単体)〉

(億円)	10/9末	増減	10/3末
自己資本比率	11.27%	+0.47%	10.80%
Tier1比率	7.11%	+0.35%	6.76%
Tier1	1,997	+33	1,963
Tier2	1,170	▲5	1,176
自己資本合計	3,167	+27	3,139
リスクアセット	28,086	▲960	29,046
金利リスク量(99パーセンタイル値)	429	▲118	548
アウトライヤー比率	13.57%	▲3.90%	17.48%

〈北海道銀行(単体)〉

	10/9末	増減	10/3末
自己資本比率	10.68%	+0.49%	10.19%
Tier1比率	7.07%	+0.26%	6.81%
Tier1	1,456	+17	1,438
Tier2	741	+28	712
自己資本合計	2,197	+45	2,151
リスクアセット	20,565	▲540	21,105
金利リスク量(99パーセンタイル値)	156	▲184	341
アウトライヤー比率	7.12%	▲8.73%	15.85%

10/9末よりコア預金内部モデルを導入しております

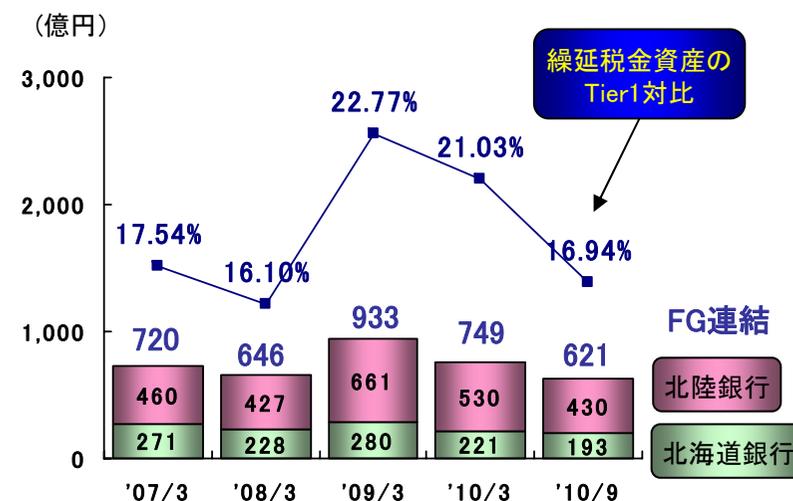
繰延税金資産

- 繰延税金資産 621億円(10/3比▲127億円)
- Tier1対比 16.94%(10/3比▲4.09%)

【繰延税金資産の発生の内訳】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	10/9末	増減	10/3末
貸倒引当金損金算入限度超過額	667	▲18	686
減価償却損金算入限度超過額	18	+0	17
退職給付引当金	174	+1	172
有価証券評価損否認額	141	+4	136
その他有価証券評価差額	-	-	-
その他	54	▲1	55
繰越欠損金	243	▲31	274
(1) 繰延税金資産小計	1,298	▲45	1,343
(2) 評価性引当額	435	+11	423
(3) 繰延税金資産合計(1)-(2)	862	▲57	920
(4) 繰延税金負債合計	241	+70	170
(5) 繰延税金資産の純額(3)-(4)	621	▲127	749

【繰延税金資産の推移】



(億円)

	10/9末	増減	10/3末
(1) 繰延税金資産小計	946	▲46	993
(2) 評価性引当額	382	+9	373
(3) 繰延税金資産合計(1)-(2)	564	▲55	620
(4) 繰延税金負債合計	134	+44	89
(5) 繰延税金資産の純額(3)-(4)	430	▲100	530

〈北陸銀行〉

〈北海道銀行〉

	10/9末	増減	10/3末
(1) 繰延税金資産小計	304	+1	302
(2) 評価性引当額	23	+2	21
(3) 繰延税金資産合計(1)-(2)	280	▲0	281
(4) 繰延税金負債合計	86	+26	60
(5) 繰延税金資産の純額(3)-(4)	193	▲27	221

業績予想

【11/3期 業績予想】

〈ほくほくFG連結〉

(億円)	当初 予想	修正後 予想	差異
経常収益	2,110	2,150	+40
経常利益	320	320	-
当期純利益	175	175	-

【11/3期 配当予想】

	中間 予想	期末 予想	年間 予想	前年度比
普通株式	-	3円50銭	3円50銭	-
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭	-

〈2行合算〉

(億円)	当初 予想	修正後 予想	差異
経常収益	1,940	1,970	+30
コア業務粗利益	1,585	1,565	▲20
経費	960	970	+10
コア業務純益	625	595	▲30
与信費用	240	220	▲20
経常利益	335	335	-
当期純利益	200	200	-

〈北陸銀行(単体)〉

	当初 予想	修正後 予想	差異
経常収益	1,100	1,100	-
コア業務粗利益	900	900	-
経費	530	530	-
コア業務純益	370	370	-
与信費用	140	120	▲20
経常利益	210	210	-
当期純利益	125	125	-

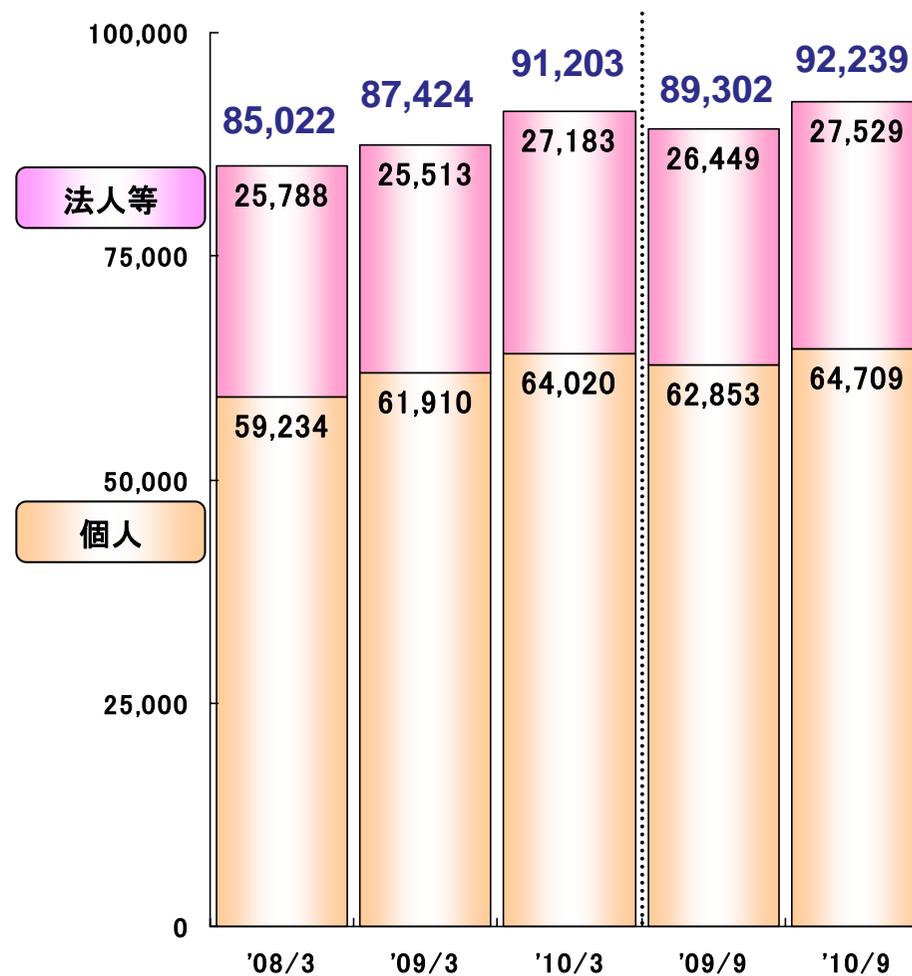
〈北海道銀行(単体)〉

	当初 予想	修正後 予想	差異
経常収益	840	870	+30
コア業務粗利益	685	665	▲20
経費	430	440	+10
コア業務純益	255	225	▲30
与信費用	100	100	-
経常利益	125	125	-
当期純利益	75	75	-

預金

- 預金 09/9比 +2,936億円(+3.28%)
- 流動性 09/9比 +1,345億円(+3.11%)
- 個人 09/9比 +1,856億円(+2.95%)

【預金推移】(NCD含む)〈2行合算〉

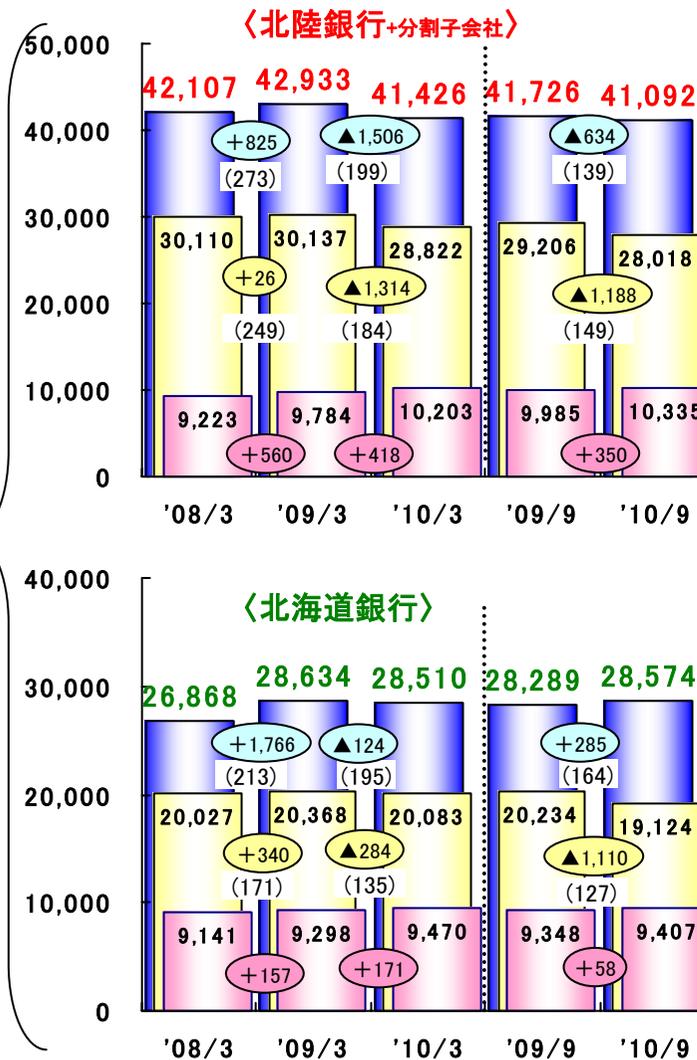
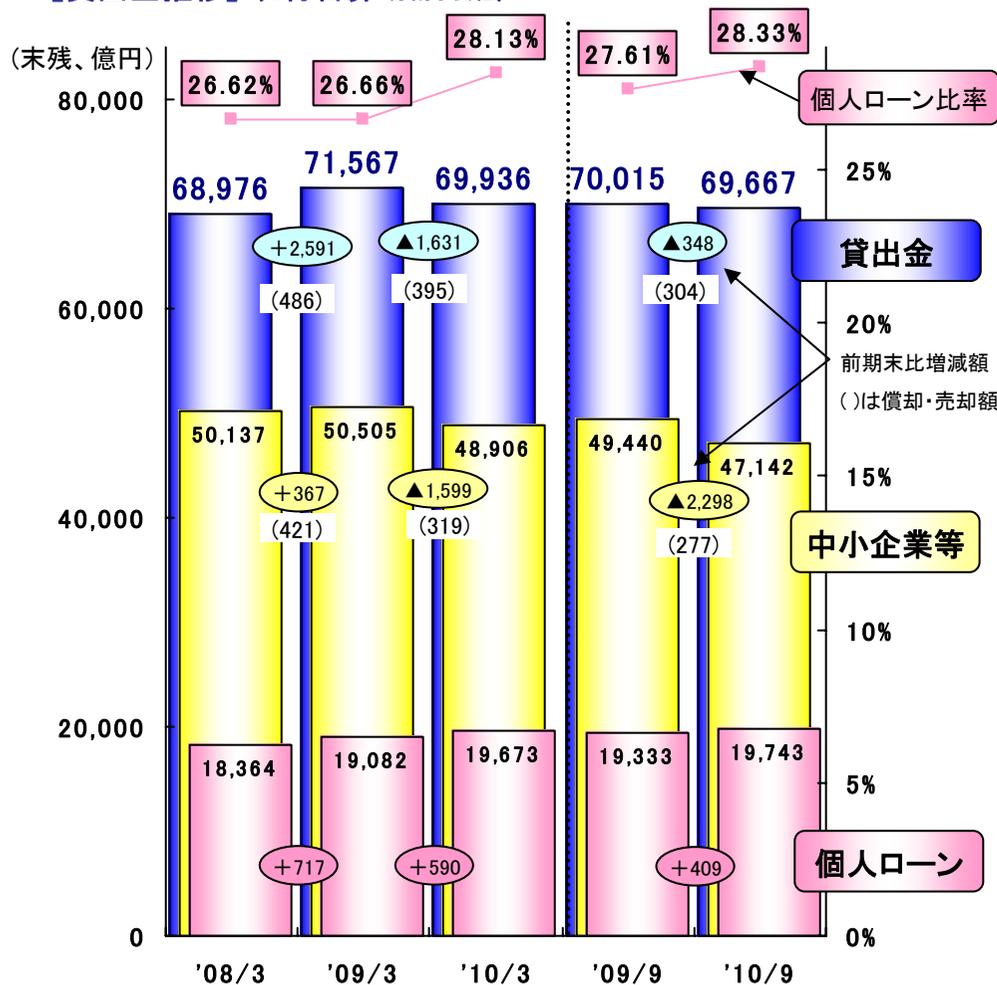


貸出金

- 貸出金 09/9比 ▲348億円 (▲0.49%)
- 中小企業等向け 09/9比 ▲2,298億円 (▲4.64%)
- 個人ローン 09/9比 +409億円 (+2.11%)

※償却・売却要因 304億円
(うち中小企業向け277億円)

【貸出金推移】〈2行合算+分割子会社〉

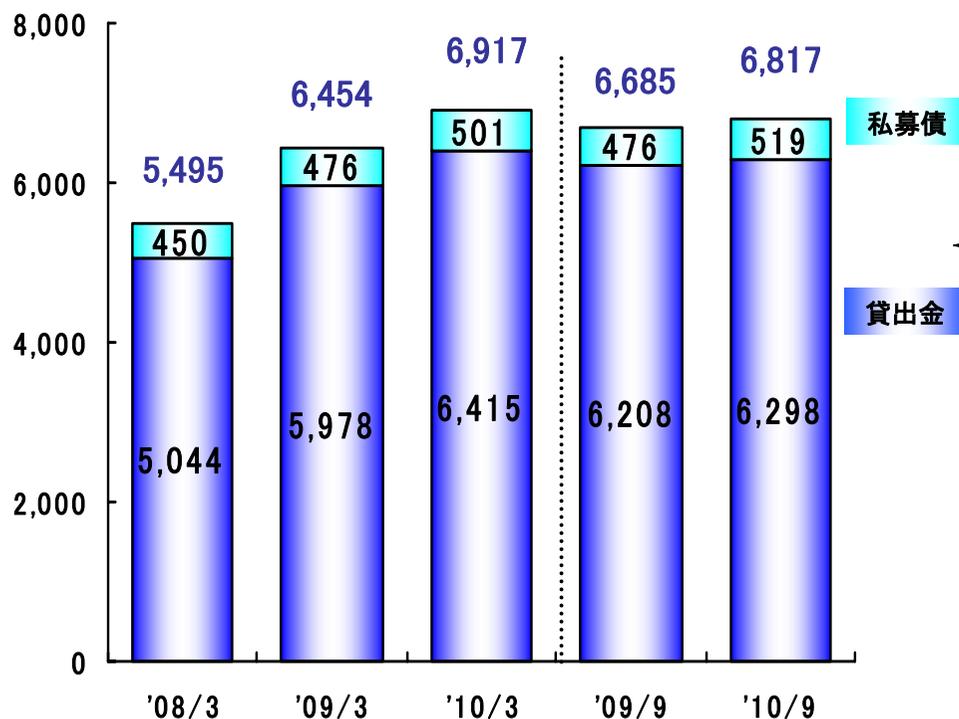


信用保証協会保証付貸出

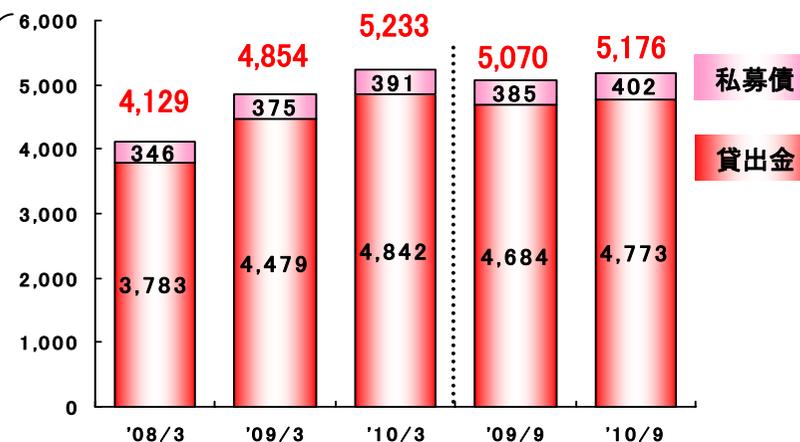
信用保証協会保証付貸出金等残高 09/9比 +132億円(+1.9%)

【マル保付貸出金等推移】〈2行合算〉

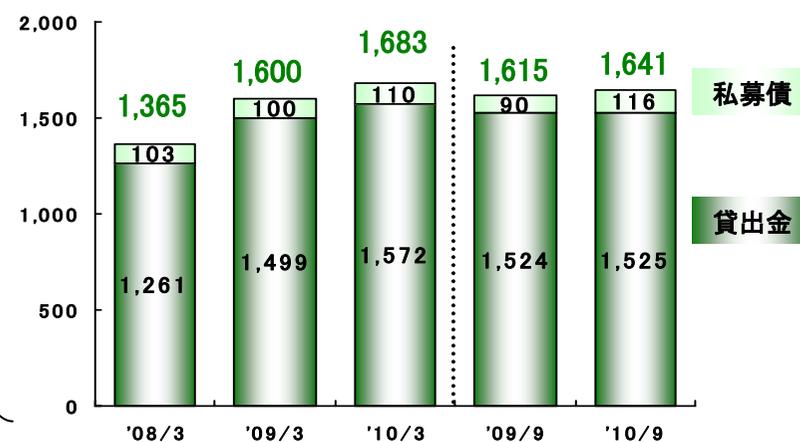
(末残、億円)



〈北陸銀行〉



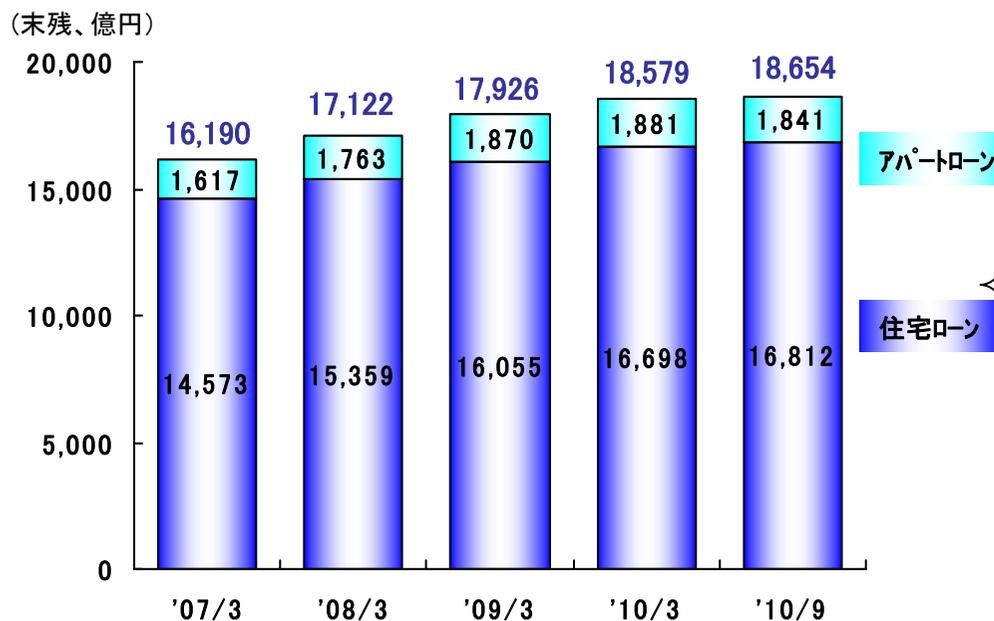
〈北海道銀行〉



住宅ローン

- 住宅系ローン残高 10/3比 +74億円
- 競争により新築実行額は伸び悩む

【住宅系ローン残高の推移】〈2行合算〉



【住宅ローン実行額の推移】

〈2行合算〉

(億円)	08/3期	09/3期	10/3期	09/9期	10/9期
住宅ローン実行額	2,275	2,186	2,095	997	898
うち新築	1,772	1,765	1,413	685	568
うち借換	502	421	682	312	329

〈北陸銀行〉

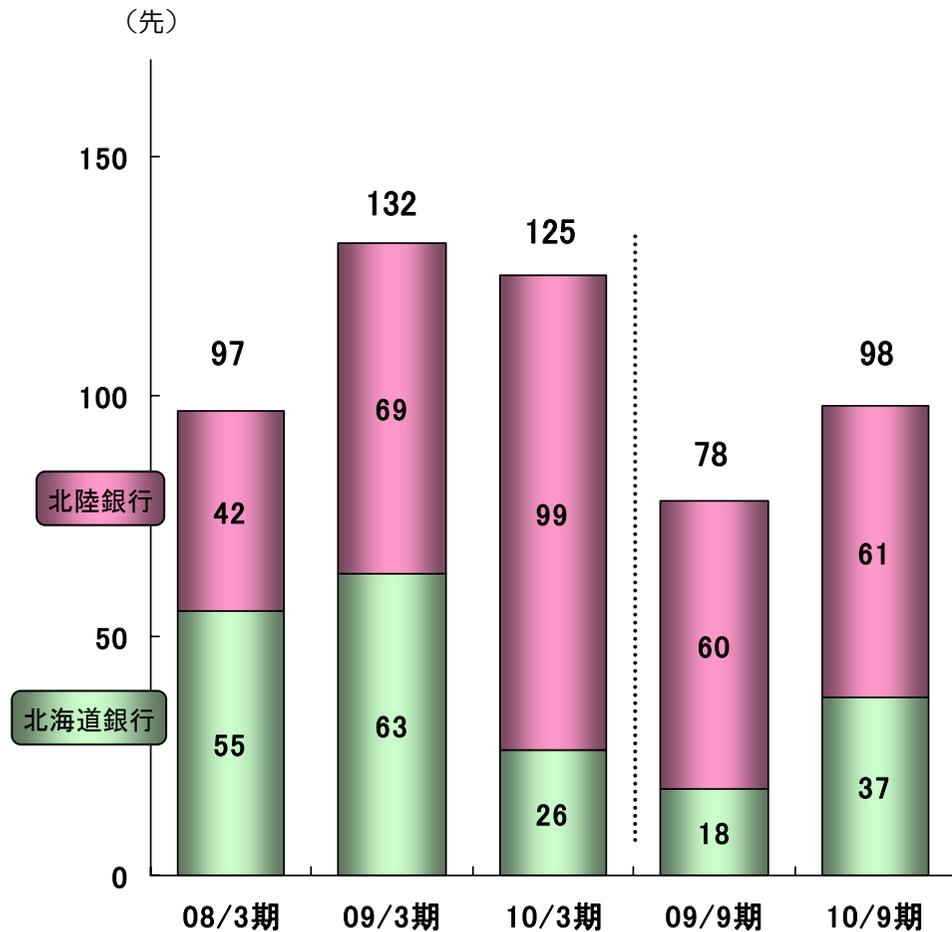
	08/3期	09/3期	10/3期	09/9期	10/9期
住宅ローン実行額	1,135	1,108	1,047	502	493
うち新築	937	908	719	379	305
うち借換	198	200	327	123	187

〈北海道銀行〉

	08/3期	09/3期	10/3期	09/9期	10/9期
住宅ローン実行額	1,139	1,077	1,048	494	405
うち新築	835	856	694	306	263
うち借換	304	220	354	188	142

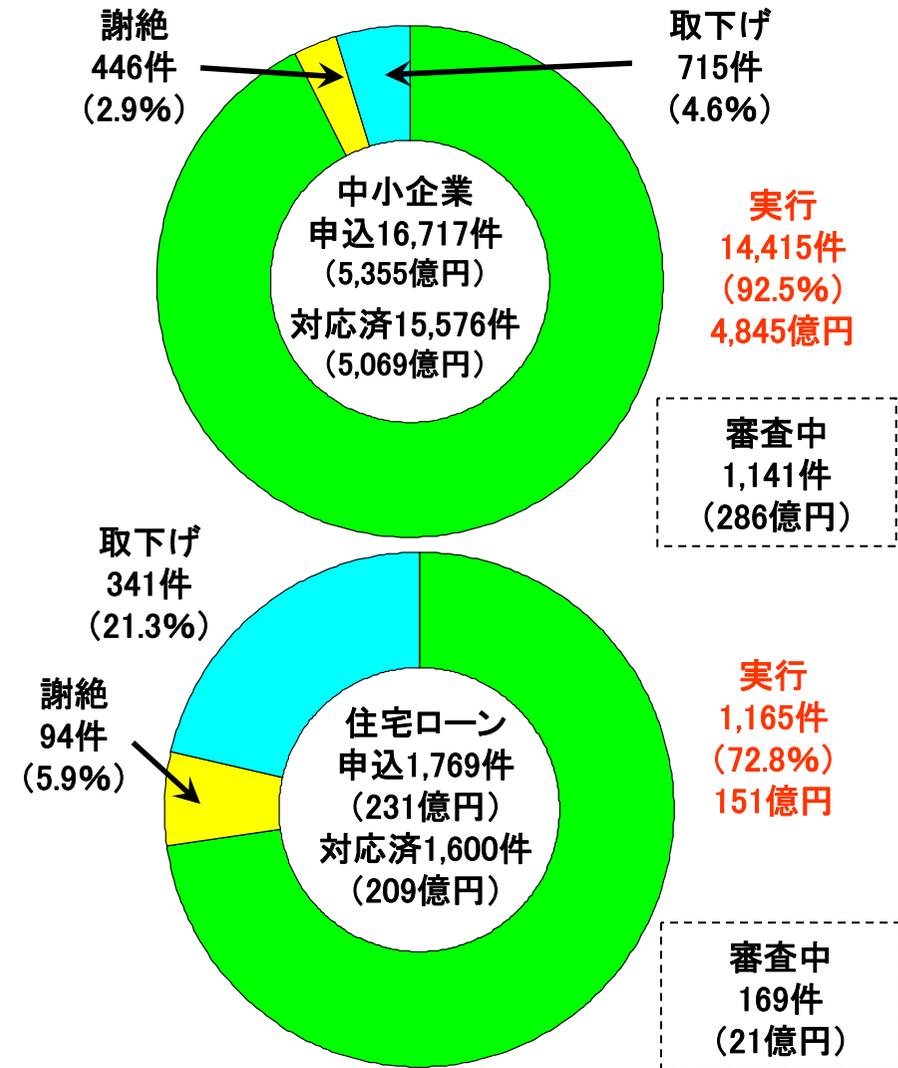
取引先支援・金融円滑化への対応

【経営改善支援の取組成果】



※経営改善支援により債務者区分がランクアップした先数

【金融円滑化対応実績】<2行合算> (21年12月～22年9月)

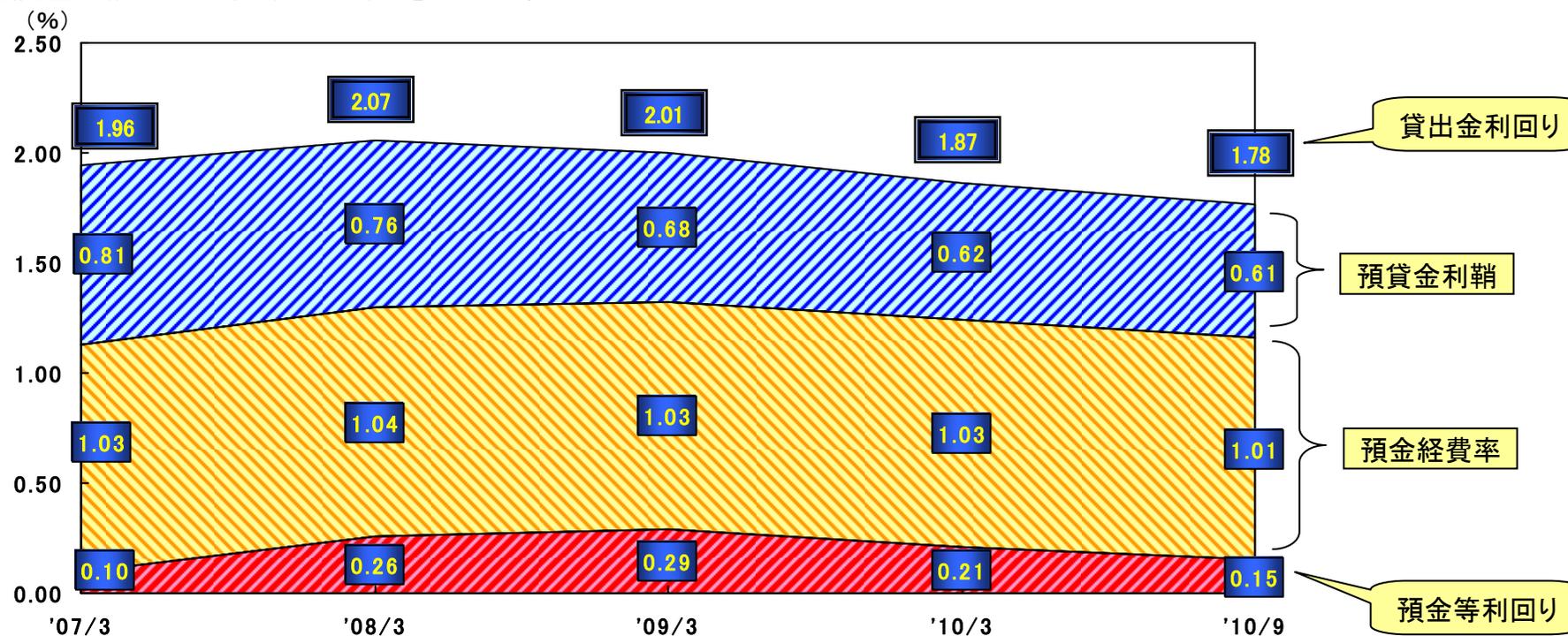


※「謝絶」には受付から3ヶ月超経過した先を含む

預貸金利ざや①

- 貸出金利回り 10/3比 ▲0.09%
- 預金等利回り 10/3比 ▲0.06%
- 預貸金利ざや 10/3比 ▲0.01%

【預貸金利靴(国内業務部門)の推移】〈2行合算〉



〈2行合算〉

〈北陸銀行〉

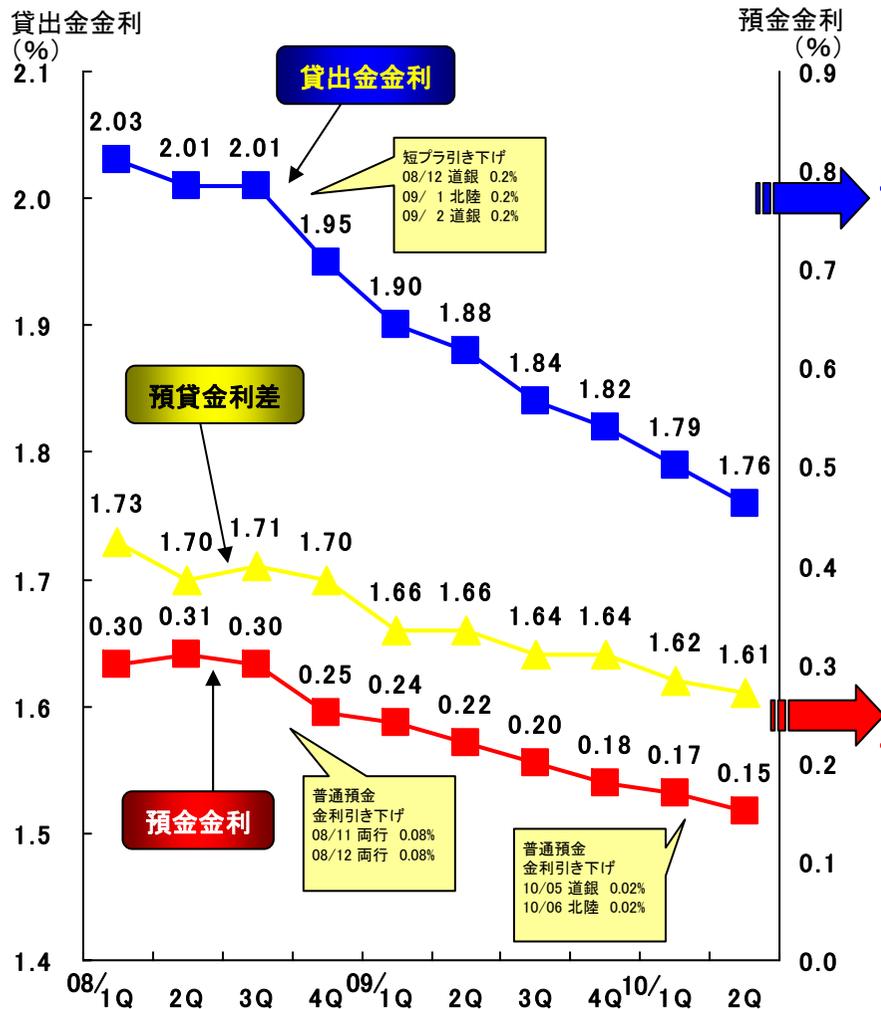
〈北海道銀行〉

(%)	〈2行合算〉					〈北陸銀行〉					〈北海道銀行〉				
	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	10/9期	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	10/9期	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	10/9期
貸出金利回り	1.96	2.07	2.01	1.87	1.78	1.88	2.00	1.93	1.80	1.71	2.07	2.17	2.14	1.98	1.88
預貸金利靴	0.81	0.76	0.68	0.62	0.61	0.75	0.70	0.62	0.59	0.56	0.92	0.85	0.78	0.68	0.67
預金経費率	1.03	1.04	1.03	1.03	1.01	1.02	1.01	1.00	0.98	0.97	1.05	1.06	1.08	1.10	1.07
預金等利回り	0.10	0.26	0.29	0.21	0.15	0.10	0.27	0.30	0.22	0.17	0.09	0.25	0.27	0.19	0.14

預貸金利ざや②

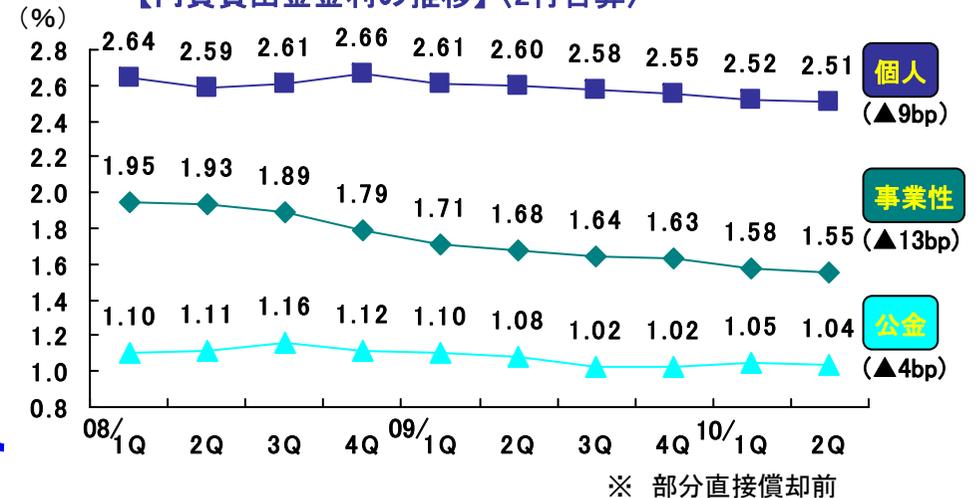
➤ 10/2Q貸出金利回り1.76% (09/2Q比▲0.12%)、預金利回り0.15% (09/2Q比▲0.07%)

【円貨預貸金利の推移】〈2行合算〉

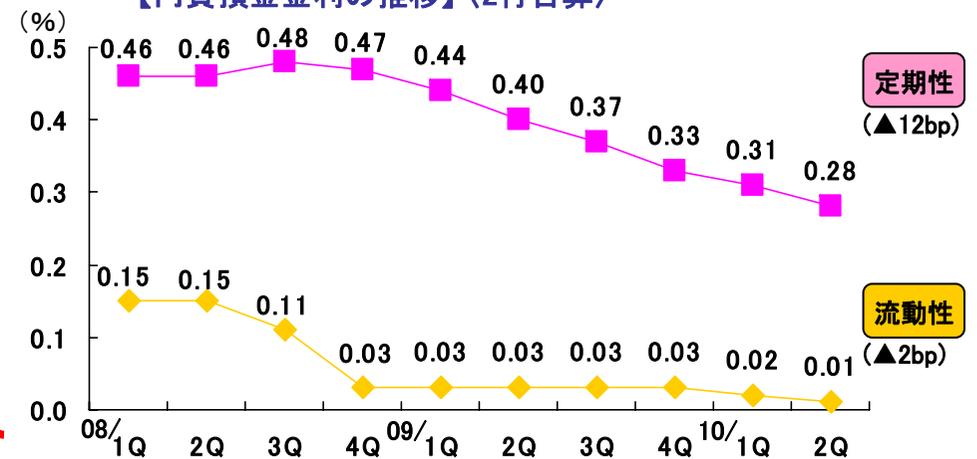


※ 内部管理ベース

【円貨貸出金利の推移】〈2行合算〉



【円貨預金金利の推移】〈2行合算〉

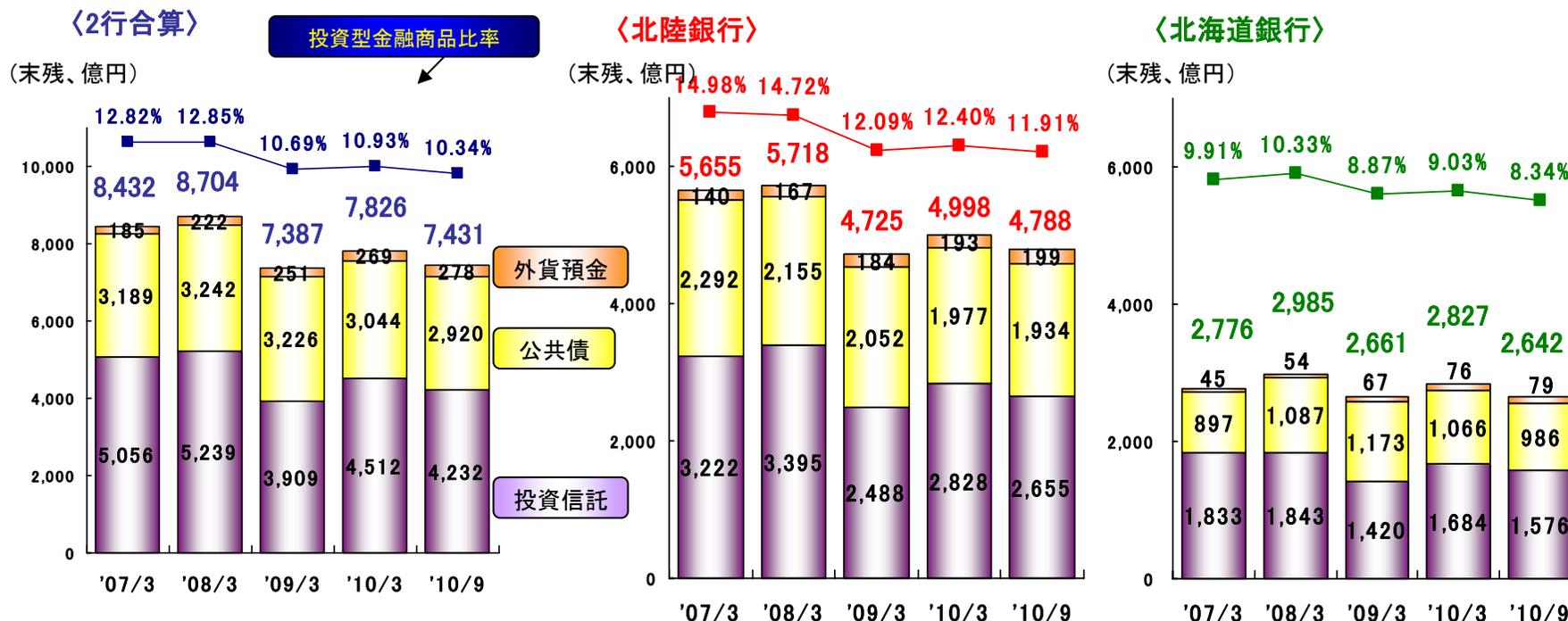


※ ()内は09/2Qとの比較 20

投資型金融商品

- 投資型金融商品 7,431億円 10/3比 ▲395億円
- 保険販売は好調

【投資型金融商品の推移】



【投資型金融商品販売額、手数料の推移】

(億円)	2行合算				北陸銀行				北海道銀行			
	08/下期	09/上期	09/下期	10/上期	08/下期	09/上期	09/下期	10/上期	08/下期	09/上期	09/下期	10/上期
投資信託販売額	249	612	771	595	110	435	611	434	138	177	159	161
生命保険販売額	323	560	383	678	200	341	173	403	122	219	210	274
投資信託手数料	16	24	28	24	9	17	20	16	6	7	8	7
保険手数料	14	20	12	19	10	14	7	13	4	5	5	6

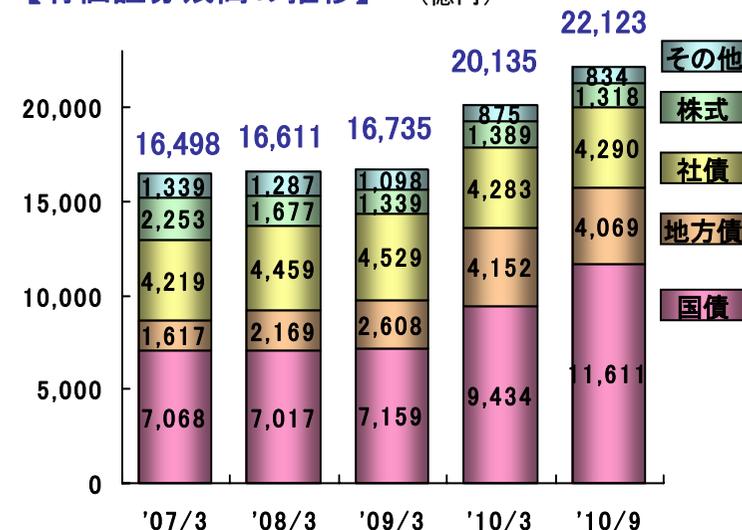
有価証券残高・評価損益

- 有価証券残高は国債を積上げ
- 評価損益は債券の評価益が大幅増加

【有価証券残高】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	10/9末	増減	10/3末
有価証券	22,123	+1,988	20,135
国債	11,611	+2,177	9,434
地方債	4,069	▲82	4,152
社債	4,290	+7	4,283
株式	1,318	▲71	1,389
その他	834	▲41	875

【有価証券残高の推移】 (億円)



【有価証券の評価損益】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	取得原価			貸借対照表計上額			評価差額		
	10/9末	増減	10/3末	10/9末	増減	10/3末	10/9末	増減	10/3末
その他有価証券	21,652	+1,659	19,993	21,974	+1,840	20,133	321	+181	140
株式	1,058	▲28	1,086	1,008	▲68	1,076	▲50	▲40	▲9
債券	18,856	+1,845	17,010	19,261	+2,062	17,198	404	+216	187
その他	1,738	▲157	1,896	1,705	▲152	1,857	▲33	+4	▲38

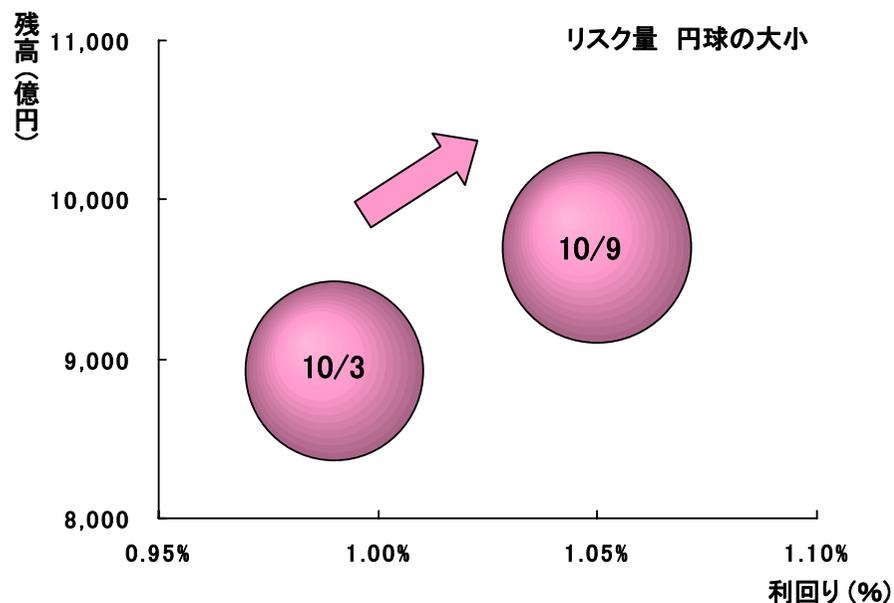
【変動利付国債の評価損益】 (億円)

〈参考〉評価損益	〈2行合算〉	〈北陸銀行〉	〈北海道銀行〉
理論価格	64	16	48
市場価格	▲34	16	▲50

ポートフォリオ(円貨債券)

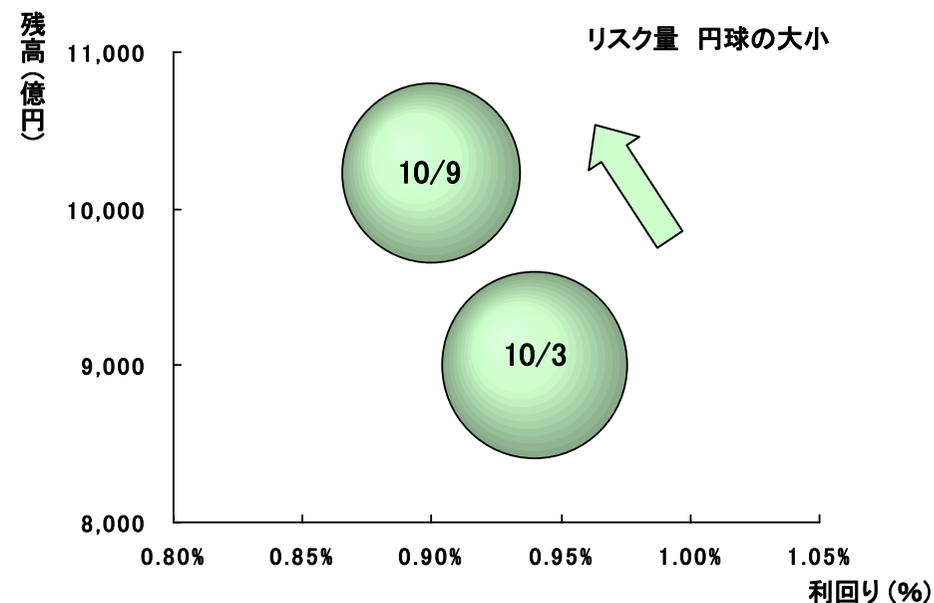
【円貨債券の残高、利回り、金利リスク】 ※ 内部管理ベース

〈北陸銀行〉



	10/3期	10/9期
北陸銀行		
残高(末残)	8,922億円	9,698億円
うち変動利付国債(金利期日管理)	1,916億円	2,071億円
期中平均利回り(%)	0.99%	1.05%
デュレーション(年)	3.38年	3.88年
リスク量(VaR)	92億円	102億円

〈北海道銀行〉



	10/3期	10/9期
北海道銀行		
残高(末残)	9,003億円	10,228億円
うち変動利付国債(GPS)	2,341億円	2,337億円
期中平均利回り(%)	0.94%	0.90%
デュレーション(年)	2.81年	3.51年
リスク量(VaR)	96億円	92億円

地域社会とともに

「地域共栄」の経営理念のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、
皆さまと共に歩み、成長・発展することを目指します。

街なかの賑わいづくり



江戸時代の町並みを再現
富山ほくほく通り

より身近なつながりへ



地域のお祭りへの参加
金沢百万石まつり

スポーツを通じた地域貢献



地域スポーツの支援
女子カーリングチームをサポート

スポーツによるふれあい



支援するフットサルチームによるイベント開催
親子フットサル教室

「地域共栄」の経営理念のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを目指します。

銀行を通じた社会経験



小学生の職業体験支援
こどものまちミニさっぽろ

金融実務の活用



大学院経済学科にオープンクラスを開講
富山大学大学院「MBA市民講座」

学術研究の発展に向けて



若手研究者を支援
富山大学「ほくぎん若手研究者助成金」制度創設

銀行を身近に



札勘・金庫室見学など銀行業務を身近に経験
夏休み 親子で銀行体験

「地域共栄」の経営理念のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを目指します。

ひとと環境にやさしい店舗



瓦一体型太陽パネル、LEDによる看板を採用
'10年10月25日新築開店した金沢問屋町支店

次世代につなぐ森づくり



5年間で10,000本の植樹をめざす
'09年より開始した道銀フォレスト運動

身近な環境活動



職員ボランティアによる清掃活動
札幌大通公園

屋上緑化

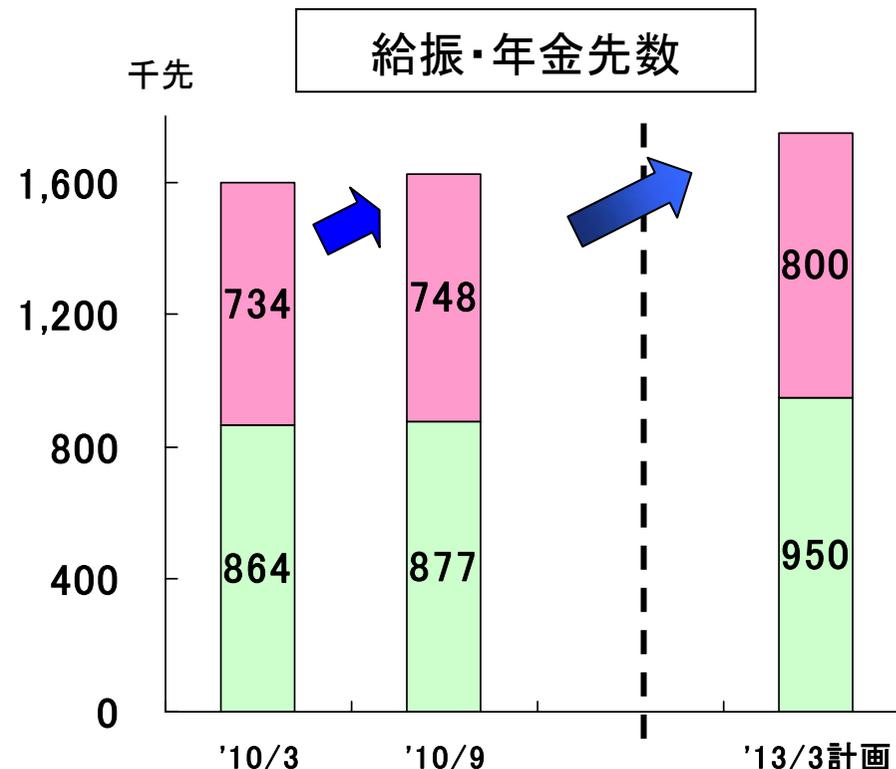
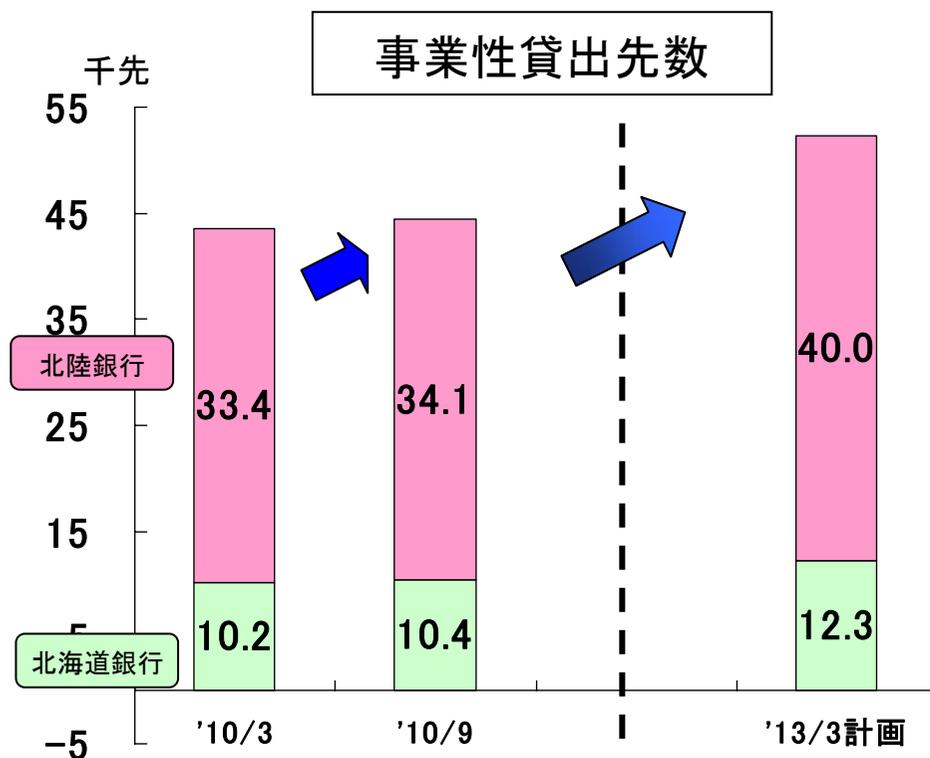


屋上に設置した緑化システム
北陸銀行本店ビル屋上

経営戦略

営業力の強化 ～取引基盤の強化

- 裾野拡大、取引先数増加による将来に渡る安定的な貸出基盤の構築
- 集まる預金の仕組みづくり(取引メイン化の推進)



- ◆ 訪問・接点を強化⇒ニーズ把握・提案営業
- ◆ 日常取引(決済・為替取引)集約・リテンション
ファンドによる取引つなぎとめ

- ◆ 住宅ローン利用先に給振・公共料金支払等をセット化(家計取引のメイン化)
- ◆ 年金相談会・年金スタッフなど相談機能強化

営業力の強化 ～海外ビジネス支援

▶アジア・極東ロシアの成長を取り込み、地域経済の活性化を図る

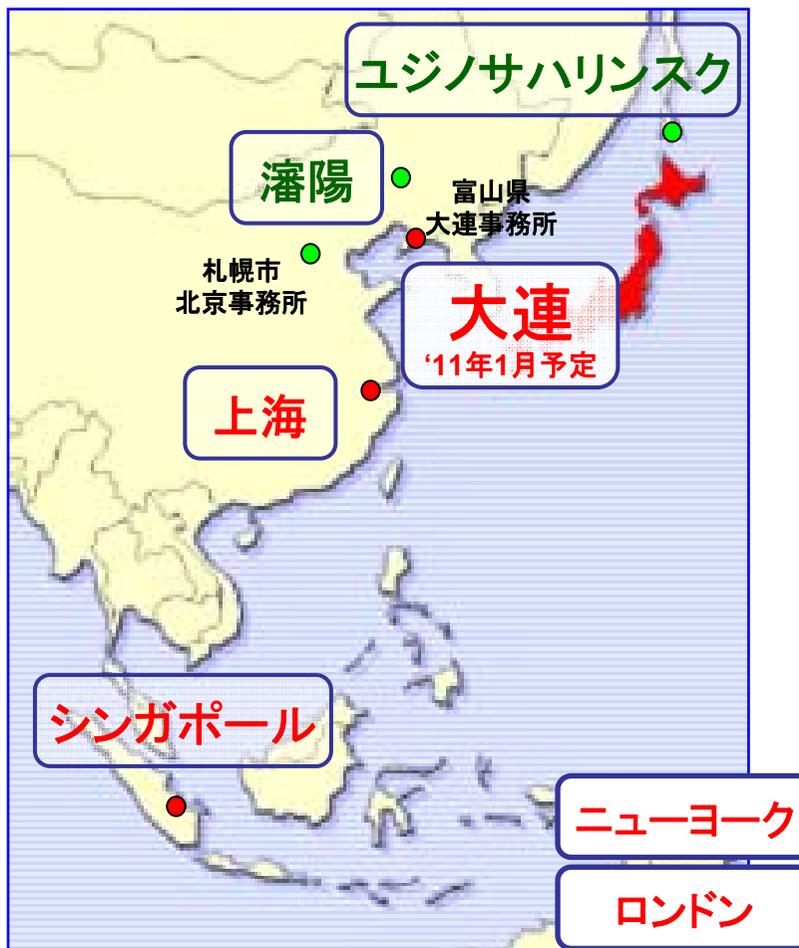
環日本海を中心に位置し、地銀随一の充実したネットワークを活用

情報提供力の強化

外銀等との提携

中国銀行、交通銀行
台湾FISC社
タイ・カシコン銀行
ベトナム銀行
スタンダードチャータード銀行
インドステイト銀行
ロシア連邦外国貿易銀行
ドイツ銀行

海外の行政機関との協定



サービス提供力の強化

現地通貨
(人民元・ルーブル)
による為替機能

台湾キャッシュカード
北海道で利用可能

商談会・セミナー
開催活発化

➤ 農業・環境・医療分野を中心に積極的に展開

商品

- ・アグリチャレンジ(最長20年)
- ・日銀成長基盤強化支援
- ・エコ私募債
- ・環境評価融資
- ・農業信用基金協会(農業版マル保)

周辺業界を巻き込んだ
地域の活性化へ

農業経営 アドバイザー在籍者

1位:北海道銀行15名
2位:北陸銀行14名

日本政策金融公庫を除く金融機関
(’10/9末現在)

連携・提携

- ・産学連携
帯広畜産大学(獣医・農畜産系単科)
- ・金融機関
環境、農業分野で包括的な提携
- ・外部コンサルタント会社活用
病院新規開業支援、農業生産管理支援
- ・ビジネスマッチング、セミナー開催

行内体制

- ・コンサル能力向上
農業経営アドバイザー資格者29名
- ・専門担当部署の設置
地区事業本部、新規チーム、
アグリビジネス推進室
- ・研修体制
「業界の達人養成講座」の開始

- マーケットに適した店舗機能の見直し
- 階層に応じた人財育成の強化・継続

店舗の戦略的再配置

◆ 店舗役割の見直し、出張所の支店化
⇒ 中小企業・個人事業主マーケットの
取り込み

◆ パーソナル支店

- ・ 資産運用対応者配置
- ・ 相談ブース設置

⇒ 富裕層をターゲット

◆ 渉外人員配置の見直し

出張所支店化

北陸銀行 5店舗
北海道銀行 1店舗

(2010年度計画)



南富山支店(旧南富山出張所)



山鼻支店(旧石山通出張所)

人財育成

◆ 若手行員の早期戦力化

- ・ 研修の拡充、基礎力養成
- ・ 評価項目の開示
- ・ トレーニー、異業種研修、研修出向

◆ コンサルティング力、専門性の強化

- ・ M&A実務者の育成
- ・ 融資部トレーニー研修
- ・ 農業経営アドバイザー資格取得

◆ 中高年層へのキャリアサポート

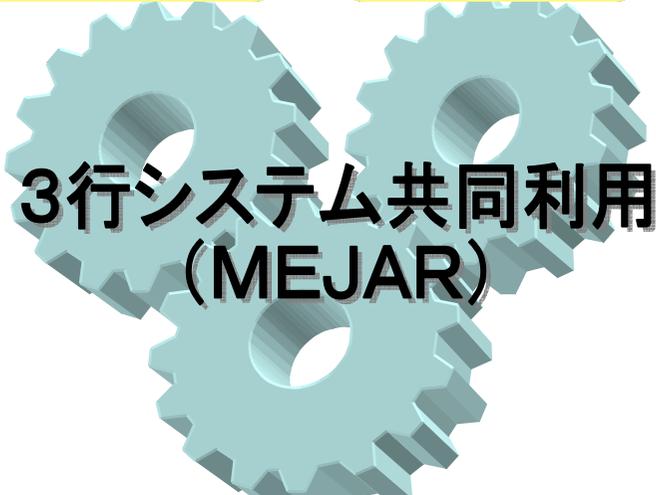
- ・ 就業ニーズ多様化への対応
- ・ キャリアサポート室の設置

3行共同利用システムの安定稼働・戦略的活用

'11年5月稼働予定
～ '10年11月営業店試験開始

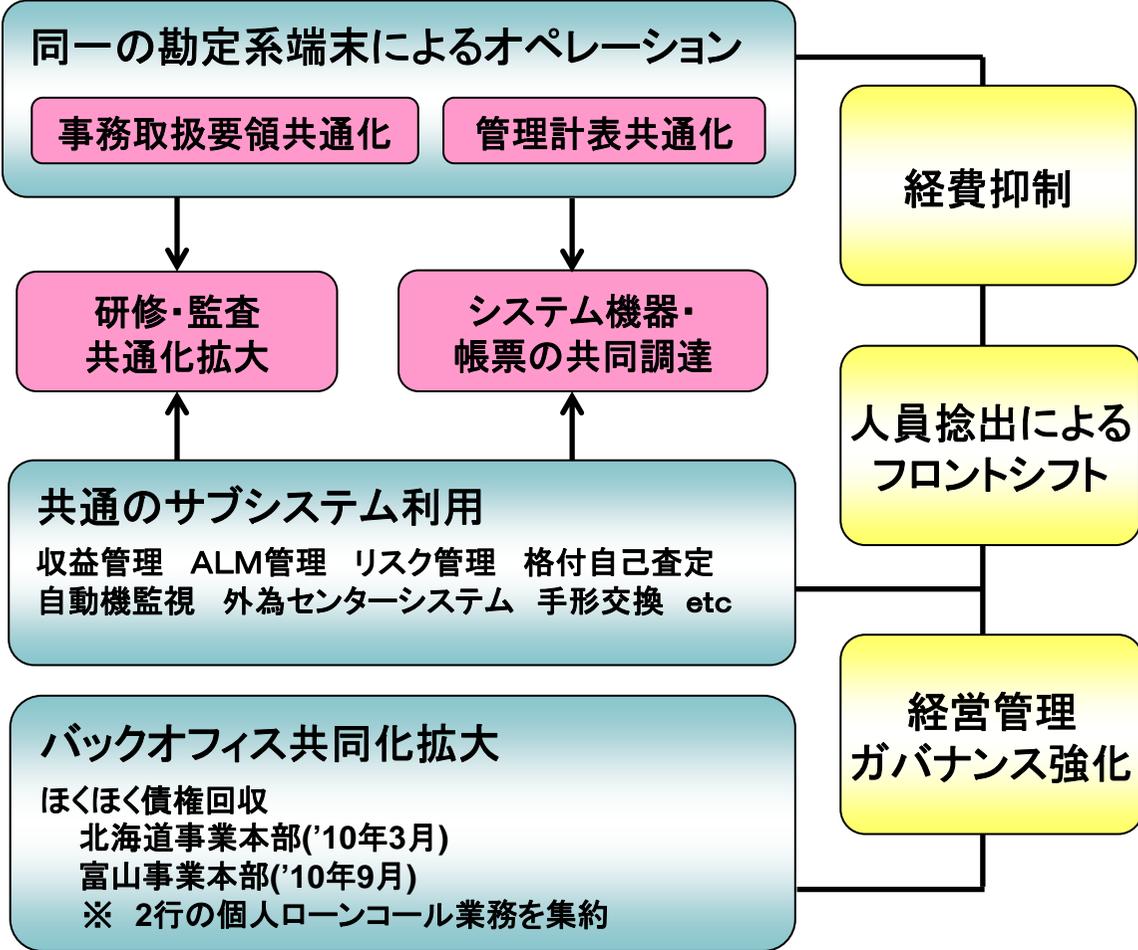
北陸銀行

北海道銀行



3行システム共同利用
(MEJAR)

横浜銀行
'10年1月先行稼働



株主への還元

- 段階的に増配を実施してきた。
- 今後は、自己資本規制・国際会計基準導入を踏まえながら、弾力的に対応。

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度 予想
FG連結 当期純利益	406億円	386億円	370億円	192億円	175億円
普通株式 配当額	2.0円／株	2.5円／株	3.0円／株	3.5円／株	3.5円／株
配当性向	6.8%	9.0%	11.2%	25.3%	27.8%
ROE	9.0%	8.1%	8.2%	4.5%	4.1%※
1株あたり 純資産額	227.57円	225.62円	234.56円	256.94円	304円※

ROE: 連結当期純利益 / {(期初連結純資産 + 期末連結純資産) / 2}

※中期経営計画にもとづく

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ(担当:丸谷)

TEL:076-423-7331

FAX:076-423-9545

E-MAIL:honsha2@hokuhoku-fg.co.jp

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。